

Press Release

2004年11月15日  
日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社  
SENDMAIL株式会社

---

## 日立ソフトとSENDMAIL、企業コンプライアンスを支援する 電子メールデータ保管ソリューションで協業

### テラバイト級の膨大なメールデータを効率的に管理

---

日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社(本社:東京都品川区、代表執行役 執行役社長:小川 健夫、以下:日立ソフト)とSENDMAIL株式会社(本社:東京都港区、社長:小島國照)は、企業内での電子メールデータ保管へのニーズの高まりに対応し、電子メールを利用した情報流出の隠蔽や重要データの紛失を防止する電子メールデータ保存・管理ソリューションの提供で協業いたします。

これは、SENDMAILのメールコピー製品「Sendmail Message Copier」(以下:Copier)と、日立ソフトの電子メール管理ソフト「Message Finder(メッセージファインダー)」とを組み合わせたソリューションで、膨大なメールデータの中から長期保管が必要とされる電子メールデータのみを抽出、保管する機能を提供することにより、全体の投資コストを抑えたコストパフォーマンスの高いシステムを提供します。

また、書き換え・消去禁止機能を持つ光ディスクシステムを組み合わせることで、より厳格な法規制を遵守することができます。

2004年12月から日立ソフトが販売開始し、両社では、電子メールデータの保存・管理を促進するための共同セミナーなどを予定しています。

ビジネス上のコミュニケーションの大半が電子メールによって行われている今日、メール情報は企業の重要な行動記録となり、公式文書としての重要性も認識されつつあります。

また、従来、電子メールデータの管理は社員個人に任されていたが、昨今は、「適切なメール管理は企業の責任」として法制化も進んでいます。

電子メールデータの管理を社員個人に任せたままにしておくことにより、

- (1) 電子メールを利用した情報流出の隠蔽
- (2) 電子メールを利用した契約での重要データの紛失
- (3) クライアントPCの障害による重要データの紛失                      などの問題が考えられます。

これに対して、日立ソフトでは、「Message Finder」を活用したソリューションを展開いたします。

「Message Finder」は、「Copier」が吐き出す膨大なデータを管理維持するためのツールです。本製品では長期保管用に必要データを絞る運用を考えた場合、全データを一時的に保管し、必要なデータのみを別のサーバに移動して保管するといった応用も可能です。加えて、必要なデータを再送するという機能も有しており、データの回復を行なうことも可能になります。送受信された電子メールを添付ファイルも含めて自動的にコピーする機能を持つ製品「Copier」と組み合わせることによって、以下のソリューションを提供します。

- (1) 情報流出が可能であるユーザまたは、外部に配信する電子メールデータすべてを保管することにより、問題発生時の調査に対応
- (2) 電子メールによって契約を行う場合、契約先のドメインに対して送受信する電子メールデータを保管することにより問題発生時の証拠物件とする
- (3) 守秘義務契約のある情報を業務委託先に開示する必要がある場合、委託先との電子メール送受信データを保管することによりどのような情報を渡したかを明確にして、情報流出に対する監査実施に対応
- (4) クライアントPCの障害時に一定期間のメールを再送するサービスを提供

また、同ソリューションは、ゲートウェイで実現するため、既存のメールシステムを入れ替える必要はありません。

### Message Finder による電子メールデータ保管ソリューションの特長

#### [1] 必要データを選別することで、ハードウェア投資を抑える

「Copier」が、「Sendmail Switch」をバックボーンとし社内ポリシーや外部規制要件に則し、送信者別、受信者別、全メール等を対象に、BCC情報、添付書類を含むメッセージ全体をコピーします。「Message Finder」は、ドメイン名やユーザ名で選択した電子メールデータを別のアプリケーションへ引き渡すことが可能であるため、長期保管が必要なデータを選択して長期保管サーバに渡し、その他のデータを削除することにより、全データの長期保管に比べ、ハードウェアの投資を抑えることが可能です。

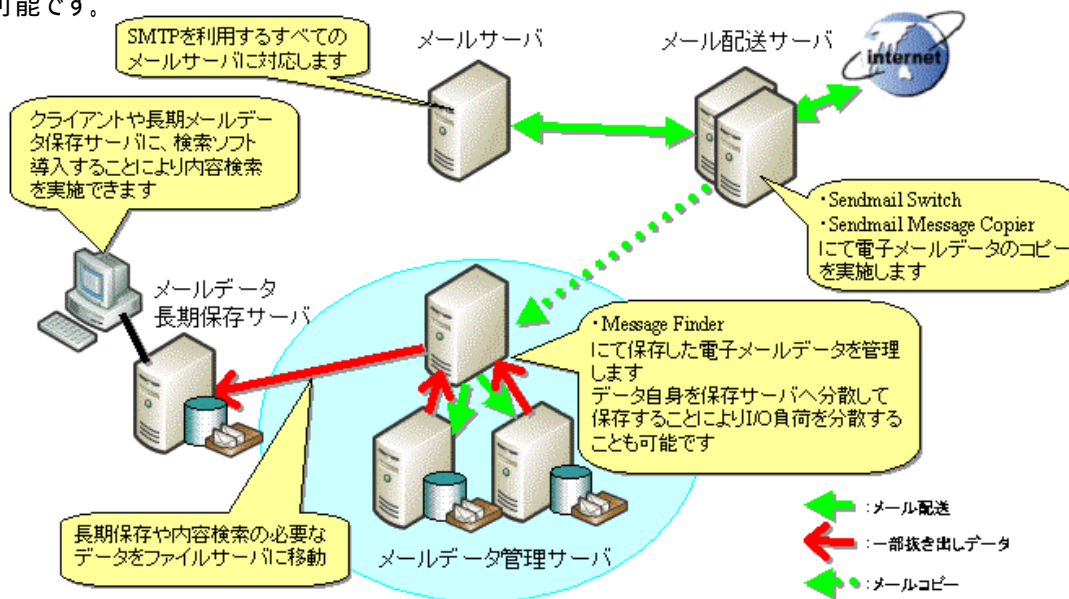


図1 Message Finderを利用した電子メールデータ保存の構成例

たとえば、500ユーザの全メールを保管する場合、1TB程度のディスク容量では一年間の保管で満杯となってしまいますが、「Message Finder」により、長期保管対象を重要な情報にアクセス可能なユーザや外部に配信するデータだけに絞る(10%程度と仮定する)ことで、全メールを90日間一次保管し、重要メールを7年間長期保管することが可能となります。

上記500ユーザ例の場合、メール保管ソリューションのご参考価格は、94万円～、ハードウェア(サーバ2台1TBディスク)を含め500万円程度からとなります。

## **[2] 大容量光ディスクにより保管データのより高い証拠性を確保**

近年、電子メールを裁判の証拠に採用する例も増えています。

これに対して、原本性を保つ書き換え・消去禁止機能を有し、長期保管に最適な大容量光ディスク「Professional Disc for DATA」と、管理用のサブシステム「TERAFILE」を組み合わせることで、保管した電子メールデータの証拠性を確保することが可能です。

---

### **日立ソフトについて**

---

<http://hitachisoft.jp/>

日立ソフトは 1970 年、日立グループ最初のソフトウェア会社として発足しました。大型コンピュータの基本ソフトの開発や官公庁、金融・保険・証券業向け大規模業務システムの開発などに取り組んでおり、1992 年には東京証券取引所 1 部に上場。インターネット、ライフサイエンス、GIS(地図・衛星情報)、電子ボードシステムなどの分野でも、事業拡大を目指しております。

---

### **Sendmail 社について**

---

<http://www.sendmail.com/>

<http://www.sendmail.com/jp/>

Sendmail, Inc.(1998 年設立、本社:カリフォルニア州エメルビル)は、ビジネスにおいて E メールに依存している大企業およびサービスプロバイダのためのセキュアな E メールシステムを構築します。

Sendmail は、優れた技術力と専門知識により、ユーザと協業し、メッセージングにおける非常に複雑な課題に対応しています。その結果、管理しやすく、拡張しやすい、信頼性の高い E メールインフラストラクチャが実現します。Sendmail のユーザには、Sherwin-Williams、the United States Executive Office of the President、Cablevision、Avaya などが含まれ、欧米で約 3 万ライセンス、日本で 3 万ライセンス以上を出荷しています。ヨーロッパ、アジアパシフィックおよび北米に拠点をもち、日本法人は、2003 年 1 月に設立されました。

---

### **報道関係者お問い合わせ**

#### **SENDMAIL 株式会社**

担当: 中村 悦子

TEL: 03-5537-0367 FAX: 03-5537-0376

[marketing-japan@sendmail.com](mailto:marketing-japan@sendmail.com)

#### **日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社**

社長室 担当: 竹橋、高野

TEL: 03-5780-6450 FAX: 03-5780-6455

[press@hitachisoft.jp](mailto:press@hitachisoft.jp)

---

記載されている製品名は各社の商標または登録商標です。